

\*この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野 I	科目名	看護倫理		
開講時間	3年次	単位・時間	1単位・15時間	講師名	専任教員
学習目標	1. 看護者としての基本的責任を果たすために、看護者のあり方に対する倫理がわかる。 2. 医療・看護における倫理の歴史的経緯を理解する。 3. 倫理の原則と看護者の倫理綱領を理解する。 4. 倫理的ジレンマと倫理問題の解決への基本プロセスを理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 倫理とは何か 2. 道徳的思考とは 3. 人間の行動と価値 4. 看護倫理のベースとなる倫理理論			講義
	2	5. 看護倫理とは 1) 看護倫理を学ぶ意義 2) 看護の倫理原則 3) 看護者の倫理綱領			講義
	3	6. 看護倫理の歴史 1) 医学の発達に伴う倫理的問題の出現 2) 現代医療における倫理的問題 3) 国際及び日本の倫理綱領の変遷			講義
	4	7. 職業倫理 1) 生命の尊厳 2) 患者の権利擁護 3) 守秘義務の厳守 4) 個人情報保護 5) 説明と同意 6) 看護師としての自覚と責任 7) 看護研究における倫理的配慮			講義
	5	8. 倫理的な問題への対応 1) Restの倫理的な行動の4要素 2) 事例における倫理的意思決定			講義・GW
	6・7	9. 倫理的問題へのアプローチ 1) 事例検討			GW
	8	終講試験			
評価方法	1. 筆記試験 (80点) 2. レポート      3. グループ発表				
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護倫理 《医学書院》 看護者の基本的責務 《日本看護協会出版社》				
参考文献	その都度紹介または配付する				
自己学習時間	30時間	事前・事後学習	・学習した内容をテキストを読み、授業資料を見て復習する ・提示された課題を期日までに作成する		

\*この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野 I	科目名	看護研究演習		
開講時間	3年次	単位・時間	1単位・15時間	講師名	専任教員
学習目標	1. ケーススタディの意義と必要性が理解できる。 2. ケーススタディの方法が理解できる。 3. 看護研究で学んだ倫理的配慮や文献検索をケーススタディに活用できる。 4. 研究発表の方法を理解し、ケーススタディの発表ができる。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. ケーススタディとは 2. ケーススタディの進め方 3. 論文の構成とまとめ方 4. ケーススタディ事例・テーマの決定			講義
	2	5. 研究計画書の作成, 文献検索			個人ワーク
	3	6. 原稿作成			個人ワーク
	4				
	5	7. 発表に向けての準備 1) 口頭発表の準備 2) 抄録の作成 3) 発表原稿・スライドの作成 4) 発表時の留意点 8. 聴き手の準備と講評			講義 個人ワーク
	6・7・8	9. ケーススタディの発表 1) ケーススタディ発表 2) 質疑応答、講評			発表会
評価方法	1. ケーススタディ原稿作成の取り組み 2. 発表、成果物				
テキスト	看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 《照林社》				
参考文献	はじめの一步からやさしく進める かんたん看護研究 南江堂				
自己学習時間	30時間	事前・事後学習	・2年次の「看護研究」の授業の復習 (研究における倫理的配慮、研究計画書の書き方、文献検索の方法、スライド作成のポイント等) ・ケーススタディ発表までに計画的に進める		